

とっとり知らせたい!

TOTTORI SHIRASETAI!

市民と行政がつながるTV「とっとり知らせたい!」。さまざまな情報をお送りしています。みなさんの知らせたい!情報も待っています。

【放送】毎週金・土

特集は山陰海岸ジオパークを旅する「ジオたび」、「元気です」、「図書館だより」、「なるほど!教育委員会」。しょうがぼかぼかフェスタなどのイベントも紹介します。お見逃しなく!!



みやっち えりっち

~facebookページ「とっとり知らせ隊」にも注目!~

鳥取市議会 2月定例会

市議会定例会の開会・一般質問の様相を終了まで生中継、当日午後6時から122ch(第2放送)で再放送します。

静止画文字情報

【鳥取市からのお知らせ】【放送】毎週水・木・金・土

いなばぴよんぴよんネット 自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

各地で始まった集落座談会や、栽培情報では水稲や果樹の栽培暦の変更点などをお知らせします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

節分や雪まつりなど季節の話題や、今春小学校に入学する子どもたちの体験入学の様子などを紹介します。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介いたします。

122ch(第2放送)

週替わりでリクエスト番組やイベント番組を再放送。また、テレビでしゃんしゃん体操を毎日放送中!

※ケーブルテレビの「デジアナ変換サービス」は、3月10日(火)正午に終了します。「デジアナ」の表示があるテレビは、チューナーを取り付けるなど対策が必要です。詳しくはご加入のケーブルテレビ局へお問い合わせください。

情報をお寄せください!

いなばぴよんぴよんネット ☎0857-22-6111
 ※放送予定は予告なく変更することがあります。
 番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。
<http://www.inabapyonpyon.net>

これまで行ってきた数々のプログラムには、



すみおれ図書室



庭のワークショップ

学生をはじめ、地域の人も多く参加しています。



ゲストトークシリーズ



建物全体を舞台にしたパフォーマンス(2013)

シリーズ 元気です

155

まちにアートとひとづくりの拠点を ホスピタイル・プロジェクト 実行委員会



委員長 野田邦弘 さん
 スタッフ 藤木美里 さん
 キュレーター 赤井あずみ さん



中心市街地にある「旧横田医院」(栄町403)。円形の建物に目をひかれます。

アーティストが滞在する「こどもや(瓦町5-2)」はスタッフの藤木さんが管理しています。

ジェンス・プログラム。2つめは、展覧会やワークショップ、パフォーマンスといった多様なアートを紹介するギャラリー・プログラム。3つめは、国内外のアーティストプロジェクトの現場や事例を紹介するゲストトークのシリーズ。4つめは旧横田医院の庭を再生するワークショップ。5つめが、『読まなくなったけど捨てられない本』を地域の人から集めてつくった『すみおれ図書室』です。

「今はイベントを行うと」きだけ開けているけど、一年中地域の人が自由に出入りする場所になりたい」と話すのは野田先生。「制作や庭づくりなど楽しみつつ刺激を受けられるプログラムばかり。図書室に併設されたカフェで、本を読みながらゆっくりお茶を飲んだり、好きな本について語り合ったりもできます」と、赤井さんは地域の人へ参加を呼び掛けます。

「今も継続して活動を」当初は継続したプロジェクトになる予定はなく、大学の限られた予算で一回何かイベントをやるだけの予定でしたが、現在は大学、市中心市街地活性化協議会、県、文部科学省からの支援も受けてプロジェクトを進めています。

「少しづつ規模は大きくなっていくけど、将来的には若桜街道の空き店舗を全部ギャラリーとかアトリエとかイベントができる場所にして、空き店舗がなくなるのが理想」と夢を語る野田先生。赤井さんは「旧横田医院はアートや文化に特化したアートセンターに、『こどもや』は、ジャ

プロジェクト始動 鳥取駅前の中心市街地にある円形の独特な建造物。昭和31年に開院し、平成8年に閉院した旧横田医院の建物です。近代建築物としても文化的価値の高いこの建物を活用しようと、アートプロジェクト『ホスピタイル・プロジェクト』が平成24年3月に始動しました。

1の赤井あずみさんです。平成17年に鳥取大学に来た野田先生は、県内の空いている場所や施設、スペースを調査。市内にある旧横田医院を見て「鳥取のまちなかにこんな場所があって、いつか何かに使えたら」と考えていました。

プロジェクトのメンバーは、野田先生や現在は鳥取県立博物館の学芸員を務める赤井さんをはじめ、地域の人や鳥取大学の学生など合わせて約30人。「学生は、2年生の授業である地域調査実習の一環として運営や企画に関わりはじめてます。戸惑いながらも現場に出て実践を重ねるうちに、一部の学生は面白いと

自由に入出りできる場所に ホスピタイル・プロジェクトには大きく5つの柱があります。1つめはアーティストを鳥取に招いて、旧横田医院から歩いてすぐの場所にある元旅館『こどもや』に滞在しながら、旧横田医院をアトリエとして活用して作品制作を行うアーティスト・イン・レ